

理研会報

発行 成田川学校内
印刷 成田市成田950
事務 成田川学校内

年度末号によせて

理研会報編集長 板橋 圭我 主人

用事のため遅くなり学校に寄つたところ、代用の理科室から異様な音がする。びくびくしてかけこんでみると、新任の先生が余り馴れない手つきで硝子細工の最中だった。寒い冬の夜、なかなかなしきなことだが明日の授業はさぞかし楽しみだろと思つて、わざとらしいながら帰つた。考へ方によれば、理科教室の準備不足とも思われるが、反面理科教育はここからとも思われる。最近の理科教育は我田引水ではないが、確かに進ん

昭和40年度理科センター事業報告

地方理科センター

(四街道小学校設置)

本年度の大きな事業としては、例年行われていた講習会を閉じたこと、いつもですと、実技講習のみで終らせたのですが、今年度は特に講習内容に近い題材で授業を展開しました。そして授業を材料として理科指導について話し合いました。

更に郡教科指導員である中島竹利先生の指導で、授業の現方についての認識を深めました。後述しますが会費の方からも好評を受けました。四十一年度は一層質の向上に努めるつもりです。
以下期日の順に列記します。

8月26、27日 理科基礎実験講座
女子教員(奇数番号校)
内容 岩石の見分け方、力学の基礎、電気教材の基礎、試薬の調製、顕微鏡の基本操作とプレパレートの作り方

講師 森 賢、穴沢延治、東 誠、宗一、福田 健、中島竹利

2月18日 運営、協力員会
四十一年度事業についての反省と来年度への課題など

II 会員の感想から
前記の講習を受けられた会員の方々に感想を書いていただきましたが、センターの仕事に当たっている者としておおひに参考になりました。またここに断片のせとをお記いたします。

教材講習会(低学年)では「紙玉でつぼろ」の授業と講習があつたわけですが「紙玉」がえつて講習を受けさせていただけました。もうすでに自学級で終わったところでしたが、いろいろと指導の手ぬかりの点を反省させられ、さつそく再度にわたり指導を加えてほしいという気持ちでつぼろ(木下小・飯沼先生)というように、終つた教材内容でも更に指導しようという意欲を持たれたことは確かに感じられるものと信じます。

また 女進小の平山先生のように「さし木」の用土、方法等失敗したことがあるだけに参考になりました。一回の講習で少なくとも児童にわかつていくように努力する前向きな姿勢が会費の方の身についていく様子を見ることは本當にうれしきことです。

今年度の講習会で、いく分でも理科の好きな教師、実験するのがおつくうでない教師になろうという感想を述べつけ、来年度の計画は慎重に行われなければならぬと感じました。

四十一年度の講習会について、どんな内容のものをもつてほしいかを是非、四街道小学校あてお知らせ下さい。(五味 記)

(成田中学校設置)
学校併置、片手側センターでははたしてどの程度の活動ができるものなのかと不安に感じながら一年をすごしました。しかし幸、協力員の諸先生方をはじめ、参加下さつた先生方の熱意により、次のような諸行事を行うことができました。心から感謝いたします。

明日を追いながら行事を列記してみますと、
6・12 運営委員会、協力員会
年度中の行事の決定と打合せを行う。
7・9 三部会と共催による動物解剖講習会を印楯高校を会場として行い、フナの解剖、アメリカガザリガニの解剖、講師、印楯高・花安先生
8・10 親子半島若石採集会
印楯中スクールバスを利用させていたが、三部会方面の参加者の便をはかつたわけですが、案外参加者が少なかつたのは残念でした。なお採集会は三部会との共催で行い、飯田行部岬一太郎(大吹黒生)河口と夏のために活躍しようではありませんか。

9・12 三里塚飼料牧場植物採集会(郡研室部と共催)
科学博物館採集会と合流しましたので、博物館奥山先生、千葉大沼田先生、県センター大野先生等、諸先生の御指導をうけつつ採集しました。

10・20 協力員会
教材講習会細部打合せ
11・16 理科教材講習会を開催、不参加校二校で二班にわけた内容で行う。
物理一音、オシロスコープを中心として
植物一植物簡易プレパレート作製
地学一スライド作製(天体のスライド40コマ作製)

講習会で作製したものは、すぐ学校で使用できるようにとプランをたてたわけですが、充分活用いただけたいと思つています。参加者の先生方は二日間熱心に実習され非常によかつたと思つています。

2・11 理科研修会
成田小を会場に『冬の生物』について実施、講師は県センターの矢野先生
以上の行事を終えて考えてみますと、地方センターの性格のあいまいさが、しみじみと考へさせられます。富山県では、各市町村単位に独立したセンターを持ち、前職も配当されているそうです。当地区では、センターの存在をご存知ない先生方も相当数おられるのではなからうか。来年度は、理研会報一五号にして年度末をむかへることにいたしました。来年度は五月にお届けします。

会費の方の身についていく様子を見ることは本當にうれしきことです。

理科の好きな教師、実験するのがおつくうでない教師になろうという感想を述べつけ、来年度の計画は慎重に行われなければならぬと感じました。

どんな内容のものをもつてほしいかを是非、四街道小学校あてお知らせ下さい。(五味 記)

(成田中学校設置)
学校併置、片手側センターでははたしてどの程度の活動ができるものなのかと不安に感じながら一年をすごしました。しかし幸、協力員の諸先生方をはじめ、参加下さつた先生方の熱意により、次のような諸行事を行うことができました。心から感謝いたします。

明日を追いながら行事を列記してみますと、
6・12 運営委員会、協力員会
年度中の行事の決定と打合せを行う。
7・9 三部会と共催による動物解剖講習会を印楯高校を会場として行い、フナの解剖、アメリカガザリガニの解剖、講師、印楯高・花安先生
8・10 親子半島若石採集会
印楯中スクールバスを利用させていたが、三部会方面の参加者の便をはかつたわけですが、案外参加者が少なかつたのは残念でした。なお採集会は三部会との共催で行い、飯田行部岬一太郎(大吹黒生)河口と夏のために活躍しようではありませんか。

ために活躍しようではありませんか。

メモ

今、ツクシの胞子を採集しておきましょう。



胞子の鏡見材として今採取しておきますと、いつもでも使用できます。あとでは手に入りませんので。

編集後記

本号は地方理科教育センターの一年の歩みを中心として編集しました。センターへ皆さんのご意見、ご希望をどうぞ。
成田中にはじめてセンターができて早くも八年ぐらひになりました。はじめは数年間の予定でしたが、県センターができたため半永久設置になりました。
『学校園の計画と運営』研究会ですがスペースの都合で休みます。理研会報一五号にして年度末をむかへることにいたしました。来年度は五月にお届けします。